



インフラ情報マネジメントプログラム共同研究部門 (Informatics For Infrastructure)

研究代表者 工学研究科 久田真・教授
 契約相手方 福井コンピュータ(株)、(株)インフラ・ストラクチャーズ
 期間 令和3年4月1日～令和6年3月31日(新規:3年間)

研究目的

- 内閣府の規制改革推進会議は、インフラメンテナンスにおけるドローンやAI等の新技術の導入やデータの利活用を推進している。
- 地方自治体は、インフラの老朽化が深刻な中、技術者不足や建設予算の減少など、厳しい課題を抱えている。
- 本研究では、ドローン、AI、データベース等の先端技術を地方自治体のインフラ維持管理業務に導入し、地方自治体向けの新しいインフラメンテナンスサイクルシステムの構築を行う。

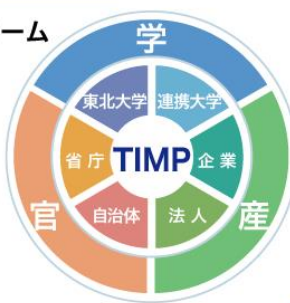
研究内容

- インフラ維持管理業務にドローン、AI、IoTを導入するための実証
- 先端技術の導入により、効率的な補修工事を実施する仕組みづくり

東北大学 インフラ・マネジメント研究センター

東北インフラ・マネジメント・プラットフォーム (TIMP) を構築

- 産学官をネットワーク化
- 各組織がもつ知識、ニーズ、場、人材を集結
- 第1回日本オープンイノベーション大賞「国土交通大臣賞」を受賞



市町村勉強会(モデル自治体でのシーズ試行)



登米市での実証(2018年7月10日)

時間短縮・コスト削減を望めるシーズの試行や、専門家による点検・補修のアドバイスを実施。

人材育成の枠組み構築

インフラ維持管理・強靱化セミナー



2020年7月、10月、11月



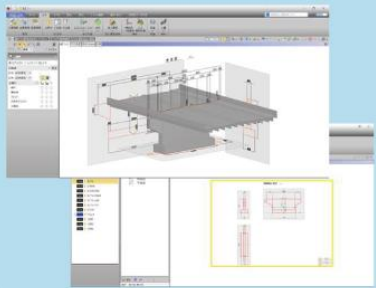
点検・ドローン



診断・AI



設計



工事

